

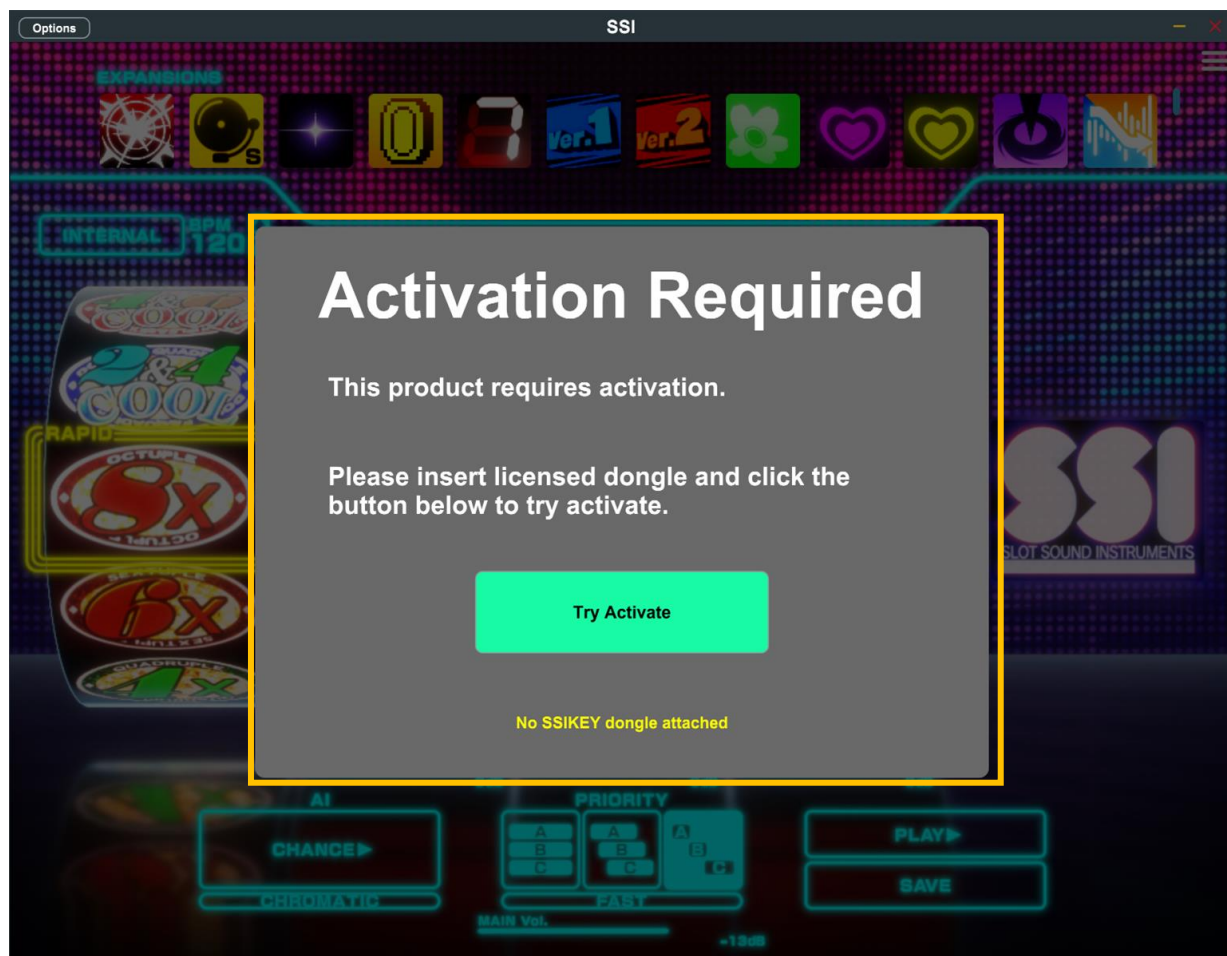


ユーザーマニュアル

JACPOTSOUNDWORKS Inc.

- P.3 アクティベーション要求画面が表示されたら
- P.4 SSIメイン画面各部名称
- P.5 サウンド再生までの基本操作
- P.6 音源ライブラリリスト/ライブラリアイコン詳細
- P.7 スロット機能エリア詳細
- P.8 ラピッド機能エリア詳細
- P.9 テンポ機能エリア詳細
- P.10 プライオリティ機能エリア詳細
- P.11 AI機能エリア詳細
- P.12 アプリケーションメニュー
- P.13 WAVファイルエクスポート機能
- P.14 キーボードショートカット
- P.15 オーディオ/MIDIデバイス設定
- P.16 プログラム用アセット/ライブラリのインストール先
- P.17 注意事項：DAW ごとの挙動の違い
- P.18 FAQ：No valid rapid pattern files found. が表示されたら
- P.19 FAQ：Please install application resources. が表示されたら

1. アクティベーション要求画面が表示されたら



上記アクティベーション要求画面が表示されたら、以下の操作を行ってアクティベーションを完了させてください。

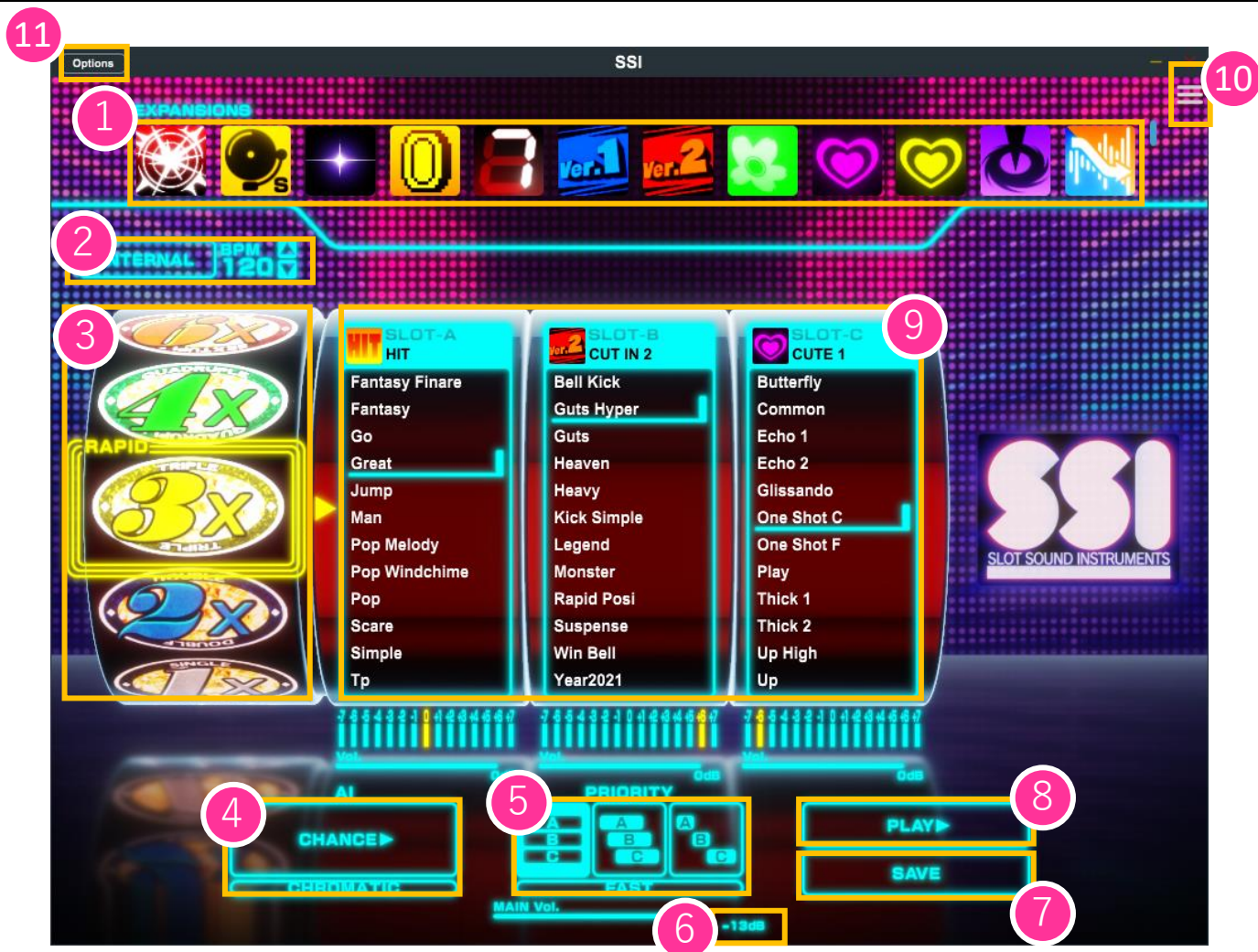
1. ライセンスデータが書き込まれたUSB dongleを端末に接続する
2. 画面中の『Try Activate』ボタンをクリックする

アクティベーションが正常に完了しない場合は、画面下部に黄色で表示されるメッセージを記録してカスタマーサポートに問い合わせてください。

Mail : info@jacpotsound.com

2. SSIメイン画面各部名称

SLOT SOUND INSTRUMENTS



1 …音源ライブラリリスト
ライブラリアイコン

2 …テンポ設定エリア

3 …ラピッド機能エリア

4 …AI機能エリア

5 …プライオリティ機能エリア

6 …MASTERボリューム

7 …WAVEファイル
エクスポートボタン

8 …PLAYボタン

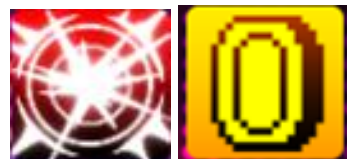
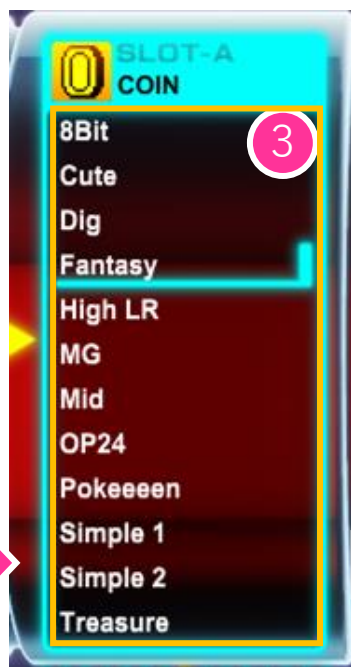
9 …スロット機能エリア
サンプルリスト

10 …アプリケーションメニューボタン

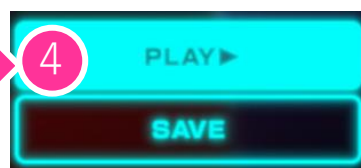
11 …オプションボタン

3. サウンド再生までの基本操作

【音源ライブラリリスト】



【ライブラリアイコン】



【スロット機能エリア】

【サンプルリスト】

【PLAYボタン】

1.音源ライブラリリストから読み込みたい音源のライブラリアイコンを選択して、読み先のスロット機能エリアまでドラッグ&ドロップします

2.スロットエリアにライブラリがロードされ、サンプルリストが表示されます

3.サンプルリストから再生したいサンプルを選択します

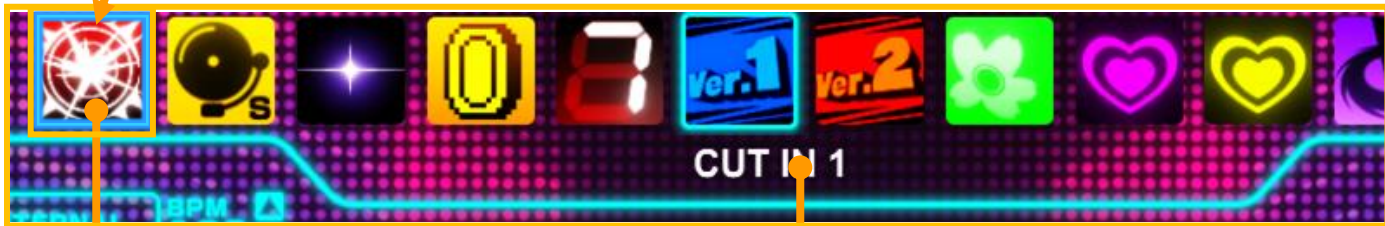
4.PLAYボタンを押すとサウンド再生が実行されます（押し続けている間サウンド再生が継続します）

4. 音源ライブラリリスト/ライブラリアイコン詳細

SLOT SOUND INSTRUMENTS

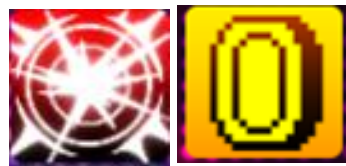
ライブラリアイコン1つにつき1つのアイコンとして表示されます。今後のバージョンアップ、音源購入によって追加されていきます。

【音源ライブラリリスト】



ライブラリアイコンをマスカリックして、**スロット機能エリア**にドラッグアンドドロップすることで、ライブラリのサンプルをスロットにロードすることができます。同一ライブラリを複数の**スロット機能エリア**にロードすることも可能です。

マウスオーバーしたライブラリアイコンの名称がここに表示されます。



【ライブラリアイコン】

【スロット機能エリア】



スロットにロードされている**ライブラリアイコン**と名前が表示されます。
またこの部分を右クリックすると、このスロットエリアの初期化処理を行います。

選択中のライブラリに収録されている**サンプルリスト**です。選択中のサンプルは、このようにハイライト表示されます。

各スロットの再生時のピッチ調整、半音階単位のノートシフトを行います。

各**スロット機能エリア**の再生時のゲイン調整を行います。

■スロット上部

マウス操作
以下の状態が初期化されます。

- 右クリック
 - 音源ライブラリのクリア
 - 選択中サンプルの解除
 - ピッチ値を初期値に戻す
 - ゲイン値を初期値に戻す

■リストボックス内操作方法

マウス操作の場合

- 左クリック
 - サンプルの選択
- 右クリック
 - 選択中サンプルの解除

キーボード操作の場合

- 上下
 - サンプルの選択

※マウス操作によるサンプルの選択を行うと、選択したサンプルがプレビュー再生されます。

6. ラピッド機能エリア詳細

【ラピッド機能エリア】



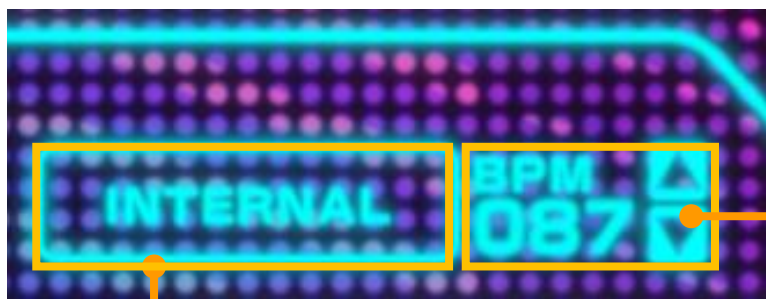
マウス操作でドラムリールを回転することで、ラピッドパターンを切り替えることができます。

- マウスクリック＝ドラムリールを上方向に回転する
- マウスホイール＝回転方向にドラムリールを回転する
- マウスドラッグ＝ドラムリールをドラッグ方向に回転する

ラピッド・パターンのMIDIを出力するクリックエリアです。
以下の手順でMIDIデータをDAWに渡すことができます。

1. RAPID枠内をクリック&ホールド
2. DAWにドラッグ&ドロップ
3. DAWにMIDIシーケンスを貼り付ける

■内部テンポモード



【テンポ設定エリア】

プログラム内部で生成するテンポ（BPM）の設定値です。上下のボタンで変更が出来ます。

内部テンポモードと、外部テンポモードを切り替えるボタンです。

※写真は内部モード時

内部モード時は、プログラム内部で生成されるテンポ情報を利用します。

そのテンポ情報に同期するようにラピッド演奏が行われます。

■外部テンポモード



内部テンポモードと、外部テンポモードを切り替えるボタンです。

※写真は外部モード時

外部モード時DAW等のホストプログラムから生成されるテンポ情報を利用します。

そのテンポ情報に同期するようにラピッド演奏が行われます。



【プライオリティ機能エリア】

プライオリティ機能のモード
選択ボタンです。
左：DEFAULTモード
中：LONGモード
右：CUTモード
※写真はDEFAULTモード

ディレイモードの切り替えボタンです。
非点灯時：NORMALモード
点灯時：FASTモード
※写真はNORMALモード

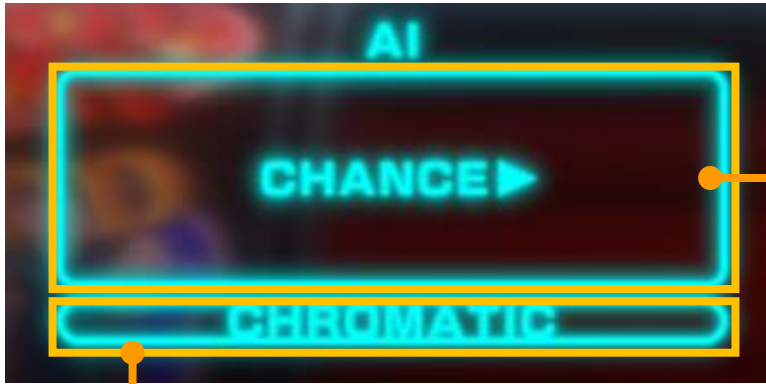
■プライオリティ機能内部仕様

- モード名: DEFAULTモード
 - プライオリティ：無効スロットABCが同時に再生/書出
- モード名: LONGモード
 - プライオリティ：有効
 - リリースカット：無効スロットABCが順番に重なりながら再生/書出
- モード名: CUTモード
 - プライオリティ：有効
 - リリースカット：有効スロットABCが順番に重ならず再生/書出

■ディレイモードについて

- | | |
|---|--|
| • NORMALモード <ul style="list-style-type: none">- Bの前に空白を125msec- Cの前に空白を250msec | • FASTモード <ul style="list-style-type: none">- Bの前に空白を67msec- Cの前に空白を134msec |
|---|--|

【AI機能エリア】

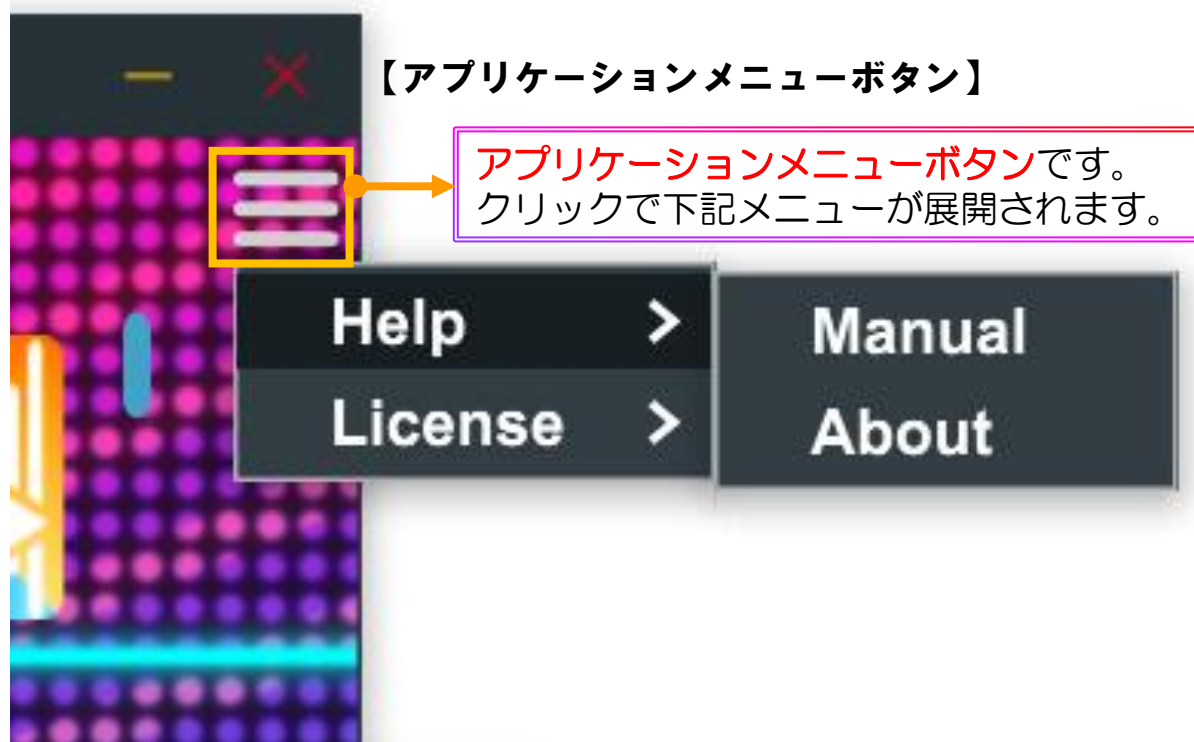


AI機能実行ボタンです。

ピッチ・ランダムイズのモード選択ボタンです。
チェック無し：ハーモニックモード
チェック有り：クロマチックモード
※写真はハーモニックモード

■AI機能内部仕様

- ハーモニックモード
音色が自動選択され、SSI特有ピッチ選択でハーモニーが生成されます。
- クロマチックモード
音色が自動選択され、ランダムでピッチが選択されます。

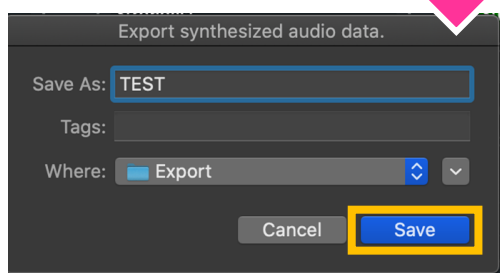


■ アプリケーションメニュー一覧

- Help
 - Manual
マニュアルが置かれたフォルダを
ファイルエクスプローラーで開く
 - About
AboutBoxが表示される
- License
 - Serial Number
ライセンスデータに含まれるシリアル番号を表示する
 - Expiration Time
ライセンスデータの有効期限の日時を表示する



【WAVEファイルエクスポートボタン】



SSIメイン画面上のSAVEボタンをクリックすると、左記のようなダイアログが表示されます。
下記手順でエクスポートが実行できます。
以下のショートカットキーでも可能です。
Win : ctrl+S
macOS : cmd+S

1. WAVEファイルエクスポートボタンを押す
2. SAVEボタンを押す
3. 表示されるメニューからWAVの長さを選択する
 - Auto: 無音部分を判別して長さを自動で決定
 - 5 seconds: 5秒固定
 - 10 seconds: 10秒固定
4. 保存先選択ダイアログが開く
5. ファイル名を入力して保存を選択する

※WAVファイルフォーマットの設定は固定になります

- ビットレート：16bit
- サンプリングレート：44.1kHz
- チャンネル設定：ステレオ

※[SAVE]ボタンはどれかのスロットにサウンドサンプルがセットされている時のみクリックが有効になります

※キーボードショートカットで[SAVE]ボタンを押した場合、前回選択したWAVの長さ設定を使用します

本製品のショートカットキーは以下のように設定されております。

- space : 再生実行 (C3)
- shift + space : ランダム実行
- esc : スロットA,B,Cの選択解除

WAVエクスポートに関しては、WindowsとmacOSではショートカットキーが以下のように異なります。押下後の手順はP.14をご確認ください。



Windows

- ctrl + S : WAVEファイルエクスポート機能呼び出す



macOS

- cmd + S : WAVEファイルエクスポート機能呼び出す

※スタンドアロン版のみの機能となります。プラグイン版にはキーボードショートカット機能は設定されていません

Options → Audio/MIDI Settingsからオーディオ・MIDIデバイス設定画面を開くことができます。

【Options】 【Audio/MIDI Settings】

MIDI 入力の有効・無効設定を行います。

オーディオデバイスの設定を行います。

※スタンドアロン版のみの機能となります。プラグイン版にはオーディオ・MIDIデバイス設定機能は設定されておりません

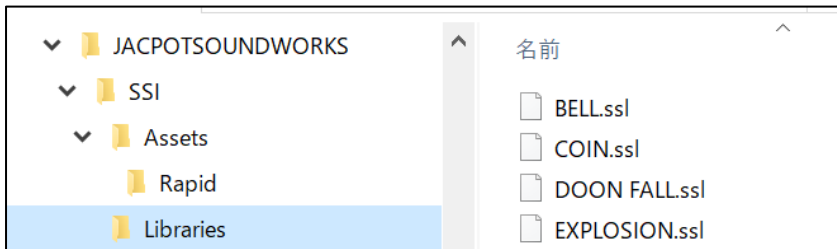
両OS共に上記フォルダに SSI プログラムが参照する各種アセットがインストールされていることを前提とします。

- アセットの一覧
 - ラピッド・パターン用MIDIファイル
 - Slot Sound Libraryファイル（拡張子.sslファイル）

※アセット、ライブラリの再読み込みを行うにはSSIプログラムの再起動が必要です。



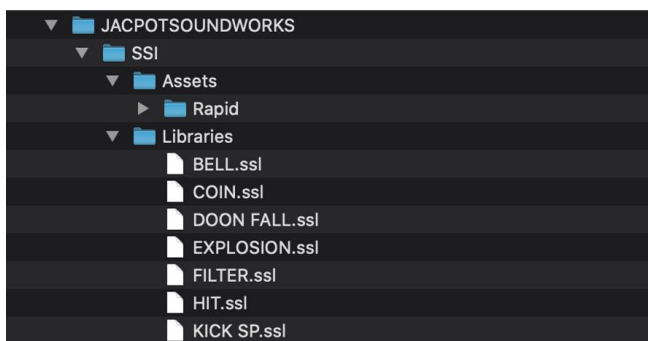
Windows



- アセット
C:\ProgramData\JACPOTSOUNDWORKS\SSI\Assets\
- ライブラリ
C:\ProgramData\JACPOTSOUNDWORKS\SSI\Libraries\
- マニュアル
C:\ProgramData\JACPOTSOUNDWORKS\SSI\Documentation\



macOS



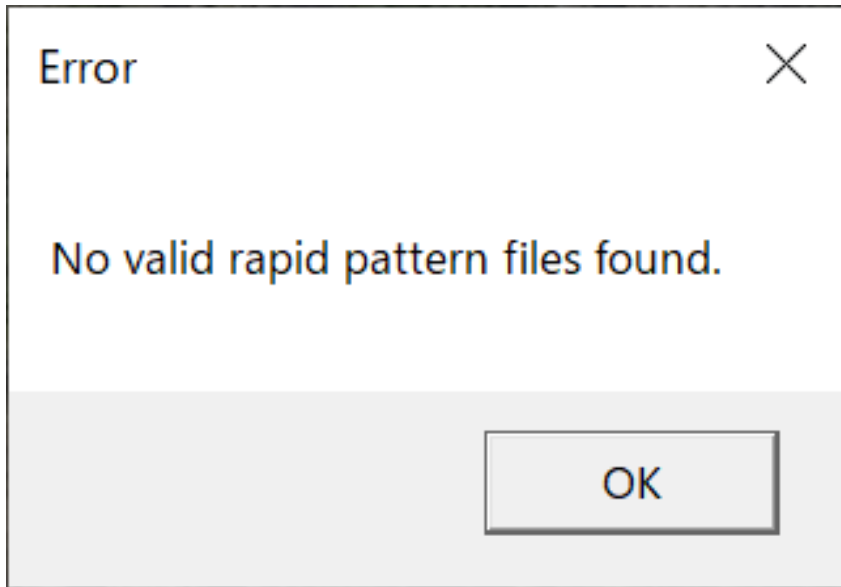
- アセット
/Library/Application Support/JACPOTSOUNDWORKS/SSI/Assets/
- ライブラリ
/Library/Application Support/JACPOTSOUNDWORKS/SSI/Libraries/
- マニュアル
/Library/Application Support/JACPOTSOUNDWORKS/SSI/Documentation/

15. 注意事項：DAW ごとの挙動の違い

DAW 上に SSI をロードして使用するとき、DAW ごとに SSI の挙動が異なることがあります。これは、プラグインに対するオーディオ処理の呼び出し方や、プラグインウィンドウの表示方法などが DAW ごとに異なることに由来しております。

現状で確認できている既知の問題は以下の通りです

| DAW | 挙動 |
|-----------------|---|
| Studio One 5 | <ul style="list-style-type: none">・スペースキーで SSI のプレビュー再生を行っている状態で DAW 側にフォーカスを移すと、SSI 側のフォーカスが外れたことを検知できずに、プレビュー再生が鳴り続ける。・macOS 環境のみで発生しており、Windows 環境では問題ない。 |
| Cubase 10.5 | <ul style="list-style-type: none">・スペースキーで SSI のプレビュー再生を行っている状態で DAW 側にフォーカスを移すと、SSI 側のフォーカスが外れたことを検知できずに、プレビュー再生が鳴り続ける。・macOS 環境のみで発生しており、Windows 環境では問題ない。 |
| Logic Pro X | <ul style="list-style-type: none">・スペースキーで SSI のプレビュー再生を行っている状態で DAW 側にフォーカスを移すと、SSI 側のフォーカスが外れたことを検知できずに、プレビュー再生が鳴り続ける。 |
| Bitwig Studio 3 | <ul style="list-style-type: none">・スペースキーで SSI のプレビュー再生を行っている状態で Ctrl キーを押すと、スペースキーを離してもプレビュー再生が鳴り続ける。・macOS 環境のみで発生しており、Windows 環境では問題ない。 |



■このエラーの原因

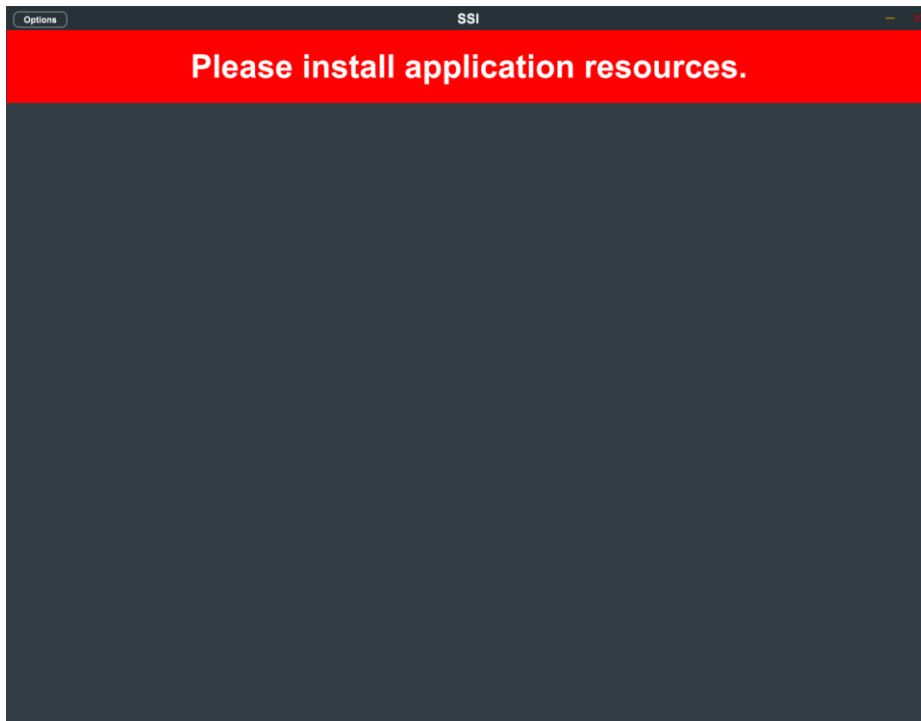
SSIを起動するのに必要なRAPIDデータがお使いの環境で見つかりませんでした。

■解決方法

SSIのインストーラーを使用してSSIを再インストールをしてください。

再インストールをしても問題が解決しない場合はカスタマーサポートにお問い合わせください。

Mail : info@jacpotsound.com



■このエラーの原因

SSIを起動するのに必要なリソースデータがお使いの環境で見つかりませんでした。

■解決方法

SSIのインストーラーを使用してSSIを再インストールをしてください。

再インストールをしても問題が解決しない場合はカスタマーサポートにお問い合わせください。

Mail : info@jacpotsound.com